

生物機能を活用した果樹カメムシ類の 減農薬防除体系の開発

果樹カメムシ類は飛来性害虫



主に山林で繁殖

移動



果樹園に侵入して加害
多くの果樹で甚大な被害

問題点...

移動の実態は
ブラックボックス

殺虫剤の反復散布が必要
過剰散布・天敵類一掃の弊害

研究内容

広域高精度発生予測技術
の開発

- ・ 新型トラップの開発
- ・ トラップ設置法の開発
- ・ プラスチック成型による生産

現地圃場での実証

果樹園進入回避技術の開発

- ・ 誘導防除法の開発
- ・ 新型誘導防除装置の開発

発生密度に対応した果樹カメムシ類の個体群制御システムの確立

期待される波及効果

減農薬防除体系の開発による経済的損害の大幅な低減並びに
天敵類を活用した環境調和型果樹害虫管理の一層の促進